

2012年4月中之島における昆虫記録

金井賢一*・守山泰司**

The recorded insects of Nakano-shima (Tokara Islands) in April 2012

Kenichi KANAI* and Taiji MORIYAMA**

はじめに

2012年4月にトカラ列島中之島の昆虫を調査した。ここにその結果を報告する。

十島村は2004年に昆虫保護条例が制定されたことにより採集の機会が減少し、記録の蓄積が難しくなっている。そこで県立博物館では基礎情報の収集・発表を目的とした調査を継続して行っている。これまで鹿児島県立博物館研究報告書には中之島の春の調査に関する記録が無く、鹿児島昆虫同好会誌SATSUMAでは、1974年5月3日～5日までの調査でトンボ6種の記録を報告したもの(有村, 1974)、1976年4月28日～5月5日までのチョウ19種、甲虫8種の記録を報告したもの(川辺・高崎, 1978)が見られる。鹿児島大学生物研究会会誌LEBENには、1974年5月2日～6日にチョウ15種、甲虫10種の記録の報告と、1991年3月19日～21日にチョウ13種の記録の報告(金井, 1992)がある。今回の4月中旬における調査は、中之島の昆虫相を知る上で貴重な記録となる。

なお、今回の調査のために便宜を図っていただいた十島村に深く感謝すると共に、記録の発表が遅れていることをお詫びする。また蛾類の同定は福田輝彦氏に大変お世話になった。この場を借りてお礼申し上げる。

1 調査の日程(図1参照)

4月13日(金) 23:50 鹿児島発フェリーとしま

4月14日(土) 07:10 中之島着

集落～運動場～ヤルセ灯台～大川～底なし沼～御岳～集落。夕食後、底なし沼にて灯火採集。島内の移動手段は、全て車である。

4月15日(月) 午前中

集落にて採集。

13:10 中之島発フェリーとしま

20:50 鹿児島着

* 4月14日の到着時には曇っていたが、昼前には日が差し始め気温の上昇とともに、虫たちの活動は活発になってきた。4月15日は時折日差しがあるものの、気温はあまり上昇せず、その活動は低調であった。

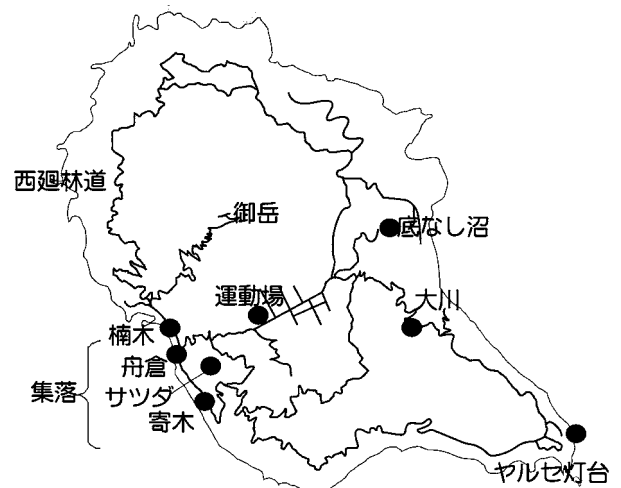


図1 中之島調査地

2 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者、鹿児島昆虫同好会

3 調査結果

以下に採集・観察した昆虫を記す。なお、採集者を金井：K、守山：Mと略記する。目の配列は琉球列島産昆虫目録(2002)を基本にしたが、新分類体系などになった場合には適宜改訂した。なお、採集年は全て2012年なので省略した。

* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

** 鹿児島昆虫同好会

バッタ目 (直翅目) **ORTHOPTERA**

イナゴ科 **Catantopidae**

台湾ハネナガイナゴ *Oxya chinensis*

集落 (1 ♂ 1 ♀ M 15. IV)

カメムシ目 (異翅目) **HETEROPTERA**

ヘリカメムシ科 **Coreidae**

ホソハリカメムシ *Cletus trigonus*

集落 (2exs.K 15. IV)

キンカメムシ科 **Scutelleridae**

オオキンカメムシ *Eucorysses grandis*

大川 (1ex.K 14. IV)

カメムシ科 **Pentatomidae**

チャバネアオカメムシ *Plautia stali*

底なし沼 (1ex.K 14. IV)

コウチュウ目 (甲虫目) **COLEOPTERA**

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

アオヒメハナムグリ *Gametis forticula forticula*

集落 (2exs.K 14. IV),

テントウムシ科 **Coccinellidae**

オオフタホシテントウ *Lemnia biplagiata*

大川 (1ex.K 14. IV), 集落 (1ex.M 15. IV)

ヒメフタモンクロテントウ *Cryptogonus horishanus*

集落 (1ex.K 15. IV)

クサキリテントウ *Harmonia yedoensis*

集落 (1ex.M 15. IV)

ハムシ科 **Chrysomelidae**

ウリハムシ *Aulacophora femoralis*

集落 (1ex.K 15. IV)

カミナリハムシ *Altica cyanea*

集落 (2exs.K 14. IV, 2exs.K 15. IV)

ハチ目 (膜翅目) **HYMENOPTERA**

ミツバチ科 **Apidae**

アマミクマバチ *Xylocopa amamensis*

集落 (1 ♂ 2 ♀ K 14. IV)

シロスジヒゲナガハナバチ *Eucera spurcatipes*

集落 (1 ♀ K 14. IV, 1 ♂ M, 1 ♀ K 15. IV)

スズメバチ科 **Vespidae**

ヒメホソアシナガバチ *Parapolybia varia*

大川 (1 ♀ K 14. IV)

セグロアシナガバチ *Polistes jokahamae*

集落 (1 ♀ K 14. IV)

キアシナガバチ *Polistes rothneyi* (図 2)

集落 (2 ♀ K 15. IV)

ハエ目 (双翅目) **DIPTERA**

ハナアブ科 **Syrphidae**

ホソヒラタアブ *Episyrphus balteatus*

集落 (1 ♂ 1 ♀ K, 1 ♂ M 15. IV)

ヒメヒゲナガアブ *Chrysoxum testaceum*

集落 (1 ♂ K 15. IV)

ハナアブ *Eristalis (Eristalis) tenax*

集落 (1 ♂ K 14. IV) (1 ♂ M 15. IV)

オオハナアブ *Phytomia zonata*

集落 (1 ♀ K 14. IV) (1 ♂ K 15. IV)

チョウ目 (鱗翅目) **LEPIDOPTERA**

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

寄木 (1 ♂ M 15. IV) 他には見えていない。

チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

集落 (1 ♂ K 14. IV) 寄木 (1 ♂ M 15. IV)

少ない。

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

集落 (2 ♂ K 14. IV) サツダ (1 ♂ M 15. IV)

少ない。

セセリチョウ科ではこの他キマダラセセリの記録があるが、確認できなかった。

アゲハチョウ科 **Papilionodae**

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

集落 (1 ♀ K 14. IV)

やや汚損した個体が多い。各地に普通。栽培ミカン類などを訪花していた。

アゲハ *Papilio xuthus*

寄木 (1 ♂ M 14. IV) 他には見えていない。

モンキアゲハ *Papilio helenus*

寄木 (1 ♂ M 15. IV)

集落 (1 ♂ K 14. IV, 1 ♀ K 15. IV)

新鮮な個体が多い。各地に普通。

ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

西廻林道 (1 ♂ 1 ♀ 目撃 M 14. IV)

集落内, ミカン園などで見られた。少ない。

カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

西廻林道 (2 ♀ M 14. IV), 舟倉 (1 ♀ M 15. IV)

集落 (3 ♂ 1 ♀ K 14. IV)

やや汚損した個体が多い。各地に普通。

*ミカドアゲハ *Graphium doson*

トカラ未記録種だが、食樹のオガタマノキは分布している。探索には最適の時期と思われ、注意していたが発見できなかった。

アゲハチョウ科ではこの他シロオビアゲハ、クロアゲハの記録があるが、確認できなかった。

シロチョウ科 **Pieridae**

モンシロチョウ *Pieris rapae*

集落 (2 ♀ K 14. IV)

集落内で採集・目撃したのみ。少ない。

ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

寄木 (1 ♂ M 14. IV) 他には見ていない。

シロチョウ科ではこの他キタキチョウ、スジグロシロチョウの記録があるが、確認できなかった。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

大川 (2~3 齢幼虫 27exs.M 14. IV)

成虫は見えていないが、林道沿いのマテバシイのひこばえに多数の卵、幼虫みられた (図 3)。マテバシイは大川、底なし沼周辺に普通に見られたが、新芽の展開していない木のほうが多かった。2010年10月に多数の成虫が見られた、高尾の運動場周辺に植栽(?)されたマテバシイにも展開した新芽もあったが、幼虫は発見できなかった。

飼育した幼虫からは、終齢~前蛹期にシヘンチュウ (寄生性センチュウの一種) が約 1/2 の割合で脱出した (詳細は別報の予定)。

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

寄木 (2 ♂ 1 ♀ M, 1 ♂ K 14. IV) (2 ♂ M, 2 ♂ K 15. IV)

各地で見られたが、多くはなかった。

ルリシジミ *Celastrina argiolus*

サツダ (1 ♂ M 15. IV) 少なかった。

アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

西廻林道 (1 ♂ M 14. IV), 集落 (1 ♂ K 14. IV)

食樹モクダチバナの混じる林縁にみられたが、多くはなかった。

*ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

見かけなかった。奄美大島では主要な食草のひとつであるコメツブウマゴヤシを舟倉で発見したが、他には見かけなかった。その他ヤハズソウ、ハイメドハギなども注意していたが、発見できずこの島で発生できないとすれば、食草の少なさがその大きな要因となっているのかもしれない。

*クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

見かけなかった。

シジミチョウ科ではこの他ムラサキシジミ、ウラナミシジミ、オジロシジミ、タイワンクロボシシジミ、タイワンツバメシジミ、ウラギンシジミの記録があるが、確認できなかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

西廻林道 (1 ♀ M 14. IV)

各地で見られたが少ない。

アカタテハ *Vanessa indica*

西廻林道 (1 ♀ M 14. IV), 集落 (1ex.K 14. IV)

各地で見られたが、少ない。

ルリタテハ *Kaniska canace*

西廻林道 (1 ♀ M 14. IV) 他には見ていない。

イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*

集落 (1 ♂ K 14. IV)

この個体だけであった。

ツماغロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

楠木 (1 ♂ K, 1 ♀ M 14. IV)

各地で見られたが少ない。

リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

西廻林道 (1ex.K, 1 ♀ M 14. IV)

栽培ミカンを訪花しているものを採集したが、多くはなかった。

アサギマダラ *Parantica sita*

西廻林道 (1 ♀ K, 目撃 M 14. IV)

栽培ミカン、スイゼンジナなどを訪花していた。少ない。

タテハチョウ科ではこの他テングチョウ、カバマダラ、タテハモドキ、ウスイロコノマチョウの記録があるが、確認できなかった。

ツトガ科 **Crambidae**

シロハラノメイガ *Pleuroptya deficiens*

底なし沼 (1 ♂ K 14. IV)

スズメガ科 **Sphingidae**

ハネナガブドウスズメ *Acosmeryx naga*

底なし沼 (8 ♂ K 14. IV)

ドクガ科 **Lymantriidae**

シタキドクガ *Calliteara taiwana aurifera*

底なし沼 (2 ♂ K 14. IV)

ゴマフリドクガ *Somena pulverea*

底なし沼 (3 ♂ K 14. IV)

ヒトリガ科 **Arctiidae**

スジモンヒトリ *Spilarctia seriatopunctata*

底なし沼 (4 ♂ K 14. IV)

スジベニコケガ *Barsine striata*

底なし沼 (3 ♂ 1 ♀ K 14. IV)

カギバガ科 **Drepanidae**

アカウラカギバ *Hypsomadius insignis*

底なし沼 (1 ♂ K 14. IV)

カワムラトガリバ *Horithyatira kawamurae*

底なし沼 (1 ♀ K 14. IV)

シヤクガ科 **Geometridae**

サザナミシロアオシヤク

Thalassodes immissarius intaminatus

底なし沼 (1 ♂ K 14. IV)

ウスキツバメエダシヤク *Ourapteryx nivea*

底なし沼 (2 ♂ 1 ♀ K 14. IV)

ヤクシマフトスジエダシヤク *Cleora minutaria*

底なし沼 (1 ♂ K 14. IV)

ツマキリウスキエダシヤク *Pareclipsis gracilis*

底なし沼 (1 ♂ K 14. IV)

シヤチホコガ科 **Notodontidae**

ミナミノクロシヤチホコ *Hiradonta ohashii*

底なし沼 (1 ♂ K 14. IV)

小林 (2011) によれば、本種の分布は奄美大島、沖永良部島、沖縄島となっている。蛹越冬で3月下旬から4月に成虫が現れることより、春の南からの風による偶産蛾か、あるいは新分布地かもしれない。今後の記録の蓄積が望まれる。

ヤガ科 **Noctuidae**

シマケンモン *Craniophora fasciata*

底なし沼 (1 ♀ K 14. IV)

アマミキヨトウ *Mythimna inouei*

底なし沼 (1 ♂ K 14. IV)

ウスオビクチバ *Remigia frugalis*

底なし沼 (2 ♀ K 14. IV)

ヤクシマコブヒゲアツバ *Zanclognatha yakushimalis*

底なし沼 (1 ♀ K 14. IV)

オオトモエ *Erebus ephesperis*

底なし沼 (1 ♀ K 14. IV)

4 チョウの記録比較

福田ら (2013) は、鹿児島県で記録のあるチョウ 165 種類のうち、「信頼性のある記録」として中之島のチョウを 48 種リストアップしている。そのうち非土着の迷蝶や、年による変動があって土着と判断できないものを除くと、中之島にはセセリチョウ科 4 種、アゲハチョウ科 7 種、シロチョウ科 3 種、シジミチョウ科 7 種、タテハチョウ科 9 種、合計 30 種が土着していると考えられている。

中之島において春に調査された4つの記録から、確認されたチョウの結果を表に示す。島嶼の生物相は不安定で、絶滅したり新たな侵入があると考えられる。4つの記録は調査時期が若干異なるので簡単には結論を出せないが、比較してみると次のようなことに気づく。

表 春の中之島に関するチョウの記録

	1974/5/26 河口 (1975)	1976/4/28-5/5 川辺・高崎 (1978)	1991/3/19-21 金井 (1992)	2102/4/14-15 本報
1 クロセセリ		○		○
2 チャバネセセリ		○		○
3 イチモンジセセリ	○	○		○
4 アオスジアゲハ	○	○	○	○
5 アゲハ		○		○
6 モンキアゲハ	○	○	○	○
7 ナガサキアゲハ		○	○	○
8 カラスアゲハ	○	○		○
9 キチョウ (キタキチョウ?)	○		○	
10 モンシロチョウ	○	○		○
11 スジグロシロチョウ	○	○		
12 ツマベニチョウ	○	○		○
13 ムラサキツバメ				○
14 ウラナミシジミ	○	○		
15 ヤマトシジミ	○	○	○	○
16 ルリシジミ				○
17 アマミウラナミシジミ			○	○
18 ヒメアカタテハ	○		○	○
19 アカタテハ	○	○	○	○
20 ルリタテハ		○	○	○
21 ツマグロヒョウモン	○	○	○	○
22 イシガケチョウ	○			○
23 タテハモドキ		○		
24 リュウキュウアサギマダラ	○	○	○	○
25 アサギマダラ		○	○	○
26 カバマダラ			○	
	15 種	19 種	13 種	21 種

- ・ スジグロシロチョウが近年記録されておらず、福田ら（2013）のリストでも土着と判断できないと記されている。ただし、4月末から5月にかけて出現する可能性もあり、中之島にいなくなったとはまだ判断できない。
 - ・ キチョウはトカラ列島における調査で、いつも確認できるとは限らず、少ない種類である。キチョウは近年キチョウ（通称ミナミキチョウ）*Eurema hecabe*とキタキチョウ*Eurema mandarina*に分類され（たとえば加藤・矢田，2005），南西諸島において両種の分布を確認するのは重要である。特に南方からの迷入があるのか，今後注意してみたい。
- 4回の調査記録において，共通して確認されているのは6種に過ぎない。島嶼という資源の少ない地域で安定して発生することが困難なのか，あるいは調査時期の違いが影響しているのか不明だが，中之島を舞台とした種の流入と絶滅をモニタリングする上で，この時期の調査を継続していきたい。

引用文献

- 有村国昭（1974）中之島のトンボ類採集報告. SATSUMA, 68 : 51.
- 福田晴夫・守山泰司（2013）鹿児島県産チョウ類の分布ノート. SATSUMA, 150 : 3-40.
- 金井賢一（1992）中之島の蝶. LEBEN, 22 : 9-10.
- 加藤義臣・矢田脩（2005）西南日本および台湾におけるキチョウ2型の地理的分布とその分類学的位置. 蝶と蛾, 56 : 171-183.
- 川辺裕樹・高崎義弘（1978）1976年5月上旬中之島のチョウ. SATSUMA, 78 : 282-284.
- 河口貴史（1975）トカラ採集報告. LEBEN, 13 : 9-11.
- 小林秀紀（2011）. ミナミノクロシャチホコ. 日本産蛾類標準図鑑 II, シャチホコガ科 : 115-138.



図2 巣材を集めるキアシナガバ



図3 マテバシイに巣を作るムラサキツバメの幼虫